

テーマ: 『 自然の大切さを知り、よりよい環境をつくりだす子の育成 』

横浜市立 高田小学校

Tel. 045-591-0700 担当者: 窪田 剛久



■実践内容:

高田小学校では、昨年度から環境教育に力を入れてきた。昨年度の学習発表会では、4年生が社会科で学んだ「ごみの資源化」をきっかけとして、リサイクルの仕組みなどを発表した。その後、校内での取組をしたいという気持ちが高まり、リサイクルステーションを設置するに至った。また、児童環境委員会では、落ち葉の多い本校の「特徴」を「特色」として生かすため、腐葉土置き場の設置を考案し、設置した。運用も始めている。

本校にはもうひとつ、校舎が3階建てという特徴がある。これを活用し、横浜市でも類を見ない大規模なグリーンカーテン作りに取り組んだ。区役所の方々のご支援もいただき、夏場の温度測定会を実施し、子どもたちは自然が創り出した日陰の涼しさを、驚きをもって実感することができた。地域から借り受けている畑の栽培活動も、PTAと連携をとりながら取り組んでいる。

■実践成果:

リサイクルステーションは、1年生から実際に分別活動に取り組み、児童一人一人がごみの資源化についての意識を高めている。またグリーンカーテンは、取り組み2年目となり、ただ植物を栽培するだけではなく、私たちの暮らし方を考えるといった視点にまで意識を高めることが出来た。栽培活動は1年生から6年生まで取り組んでおり、収穫の喜びを実感したり、その植物によってくる生き物と親しんだりして、自然をより近いものとして捉えなおしている。

■実践ポイント:

リサイクルステーションや腐葉土置き場、グリーンカーテンといった取組は、すべて児童の生活に密着したなかで行われている。発案から運用に至るまで、児童の主体性を通して活動を掘り起こし、実践してきた。2年目、3年目と実践を積み重ねることで、本校の特色として、根付いていくと考えている。